

# 平成21年7月期 第1四半期決算短信

平成20年11月28日

上場会社名 株式会社 メディアシーク  
 コード番号 4824 URL <http://www.mediaseek.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 直紀  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務管理部長 (氏名) 根津 康洋  
 四半期報告書提出予定日 平成20年12月15日

上場取引所 東

TEL 03-3224-3113

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年7月期第1四半期の連結業績(平成20年8月1日～平成20年10月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益		
21年7月期第1四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
20年7月期第1四半期	477	—	△17	—	△59	—	△54	—	
		523	76.5	40	41	—	20	—	
1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益							
21年7月期第1四半期		円 銭		円 銭					
20年7月期第1四半期		△557.11		—		213.03			
21年7月期第1四半期		213.32							

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
21年7月期第1四半期	百万円		百万円		%		円 銭	
20年7月期	1,986		1,710		84.6		17,319.14	
	2,187		1,868		83.6		18,866.64	

(参考)自己資本 21年7月期第1四半期 1,679百万円 20年7月期 1,829百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年7月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年7月期	—	0.00	—	100.00	100.00
21年7月期(予想)	—	0.00	—	100.00	100.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年7月期の連結業績予想(平成20年8月1日～平成21年7月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
第2四半期連結累計期間	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	1,073	—	△57	—	△56	—	△25	—	△257.78	
	2,475	18.9	74	△41.9	92	△10.6	41	△29.1	422.76	

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 一社(社名) 除外 一社(社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)  
 ①会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ②①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
 ①期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年7月期第1四半期 97,215株 20年7月期 97,215株  
 ②期末自己株式数 21年7月期第1四半期 233株 20年7月期 233株  
 ③期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年7月期第1四半期 96,982株 20年7月期第1四半期 96,982株

### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は、様々な要因により、上記予想数値と異なる場合があります。

・業績予想の前提となる条件等については、4ページ定性的情報・財務諸表等「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期連結累計期間に、当社グループは、コンテンツ事業において、E コマース事業強化の一環として、株式会社ルーカスからアパレル E コマースサイト「Visport」の事業譲渡を受け、3 キャリア対応の携帯電話向けモバイルサイトを含め、新生「Visport」ブランドでのサービスを開始しました。また、サービス開発事業において、携帯電話向けバーコードリーダーほかモバイル機器向けソフトウェアのライセンス販売を行ったほか、システムコンサルティング事業において、主に既存クライアント向けのシステムコンサルティング業務による売上を計上しました。その結果、当第 1 四半期連結累計期間の売上高は、477,533 千円(前年同期比 8.8% 減)、経常損失は、59,363 千円(前年同期は、41,602 千円の経常利益)、四半期純損失は、54,029 千円(前年同期は、20,688 千円の四半期純利益)となりました。

#### (サービス開発事業)

サービス開発事業においては、主に携帯電話向けアプリケーションソフトウェアのライセンス販売を行いました。当第 1 四半期連結累計期間においては、携帯電話組込み型バーコードリーダーを中心に、携帯電話のカメラ画像解析による独自の動作検知技術「モーション・ディテクション」エンジンの供給など、主要な携帯電話メーカーや通信事業者、情報サービス事業者等に対し、アプリケーションソフトウェアのライセンス販売を行いました。その結果、同事業の当第 1 四半期連結累計期間の売上高は、43,572 千円(前年同期比 9.7% 減)、営業利益は、11,824 千円(前年同期比 31.9% 減)となりました。

#### (コンテンツ事業)

コンテンツ事業においては、E コマース事業強化の一環として、株式会社ルーカスからセレクトショップ型アパレル E コマースサイト「Visport」の事業譲渡を受け、携帯電話向けモバイルサイトを含め、新生「Visport」ブランドでのサービスを開始しました。さらに、ヘルスケア & ビューティー関連サービス強化の一環として、既存サイトのリニューアルのほか、携帯電話向け有料コンテンツ配信サービスの強化・拡大を実施しました。その結果、同事業の当第 1 四半期連結累計期間の売上高は、257,765 千円(前年同期比 14.1% 増)、営業利益は、42,879 千円(前年同期比 14.3% 増)となりました。

#### (システムコンサルティング事業)

システムコンサルティング事業においては、既存システムの拡張や機能強化のほか、主に既存クライアントに対し新たなシステムコンサルティングサービスを提供しました。その結果、同事業の当第 1 四半期連結累計期間の売上高は、176,195 千円(前年同期比 29.4% 減)、営業利益は、5,027 千円(前年同期比 91.6% 減)となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 資産、負債及び純資産の状況

#### (資産の部)

当第 1 四半期連結会計期間末における総資産は、1,986,382千円(前連結会計年度末から201,567千円の減少)となりました。

このうち、流動資産は、1,044,037千円(前連結会計年度末から76,676千円の減少)となりました。これは、主として現金及び預金が64,907千円減少したことによるものです。

固定資産は、942,344千円(前連結会計年度末から124,891千円の減少)となりました。これは、主として投資有価証券が131,002千円減少したことによるものです。

#### (負債の部)

当第 1 四半期連結会計期間末における負債は、275,812千円(前連結会計年度末から43,879千円の減少)となりました。これは、主として買掛金が53,628千円減少したことによるものです。

#### (純資産の部)

当第 1 四半期連結会計期間末における純資産は、1,710,569千円(前連結会計年度末から157,687千円の減少)となりました。これは、主としてその他有価証券評価差額金が、86,338千円減少したことによるものです。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第 1 四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」)は、期首に比べ64,907千円減少し、552,118千円(前連結会計年度末は、617,026千円)となりました。

また、当第 1 四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは次の通りであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、44,358千円の支出(前年同期は、17,221千円の支出)となりました。これは、主として仕入債務が53,628千円減少したことによるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、14,273千円の支出(前年同期は、55,189千円の収入)となりました。これは、主として有形固定資産を13,233千円取得したことによるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、6,120千円の支出(前年同期は、財務活動によるキャッシュ・フローは、ありません)となりました。これは、配当金を6,120千円支払ったことによるものです。

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」を適用しておりますので、上記記載の前年同期の数値は、参考情報としてお取扱い下さい。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年7月期の連結業績予想については、複合金融商品に関して評価損を計上したものの、各事業の業績については堅調に推移しているため、平成20年9月17日に公表しました業績予想の数値に変更は、ありません。

なお、当該予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。様々な要因によって、実際の業績は、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項は、ありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

##### 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

##### 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この変更による損益に与える影響は、軽微であります。

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号)を第1四半期連結会計期間から適用しております。  
この変更による損益に与える影響は、ありません。

## 5. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第 1 四半期連結会計期間末 (平成20年10月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年 7 月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	552,118	617,026
受取手形及び売掛金	442,386	473,606
商品	11,989	302
仕掛品	15,594	4,412
その他	26,888	30,363
貸倒引当金	4,939	4,996
流動資産合計	1,044,037	1,120,714
固定資産		
有形固定資産	55,421	47,824
無形固定資産		
のれん	43,026	46,182
その他	9,796	8,480
無形固定資産合計	52,822	54,663
投資その他の資産		
投資有価証券	672,561	803,563
その他	188,038	187,684
貸倒引当金	26,500	26,500
投資その他の資産合計	834,099	964,747
固定資産合計	942,344	1,067,235
資産合計	1,986,382	2,187,949

(単位:千円)		
	当第 1 四半期連結会計期間末 (平成20年10月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年 7月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	148,863	202,492
未払法人税等	1,846	6,843
ポイント引当金	1,042	
その他	123,186	109,502
<b>流動負債合計</b>	<b>274,938</b>	<b>318,837</b>
<b>固定負債</b>		
退職給付引当金	873	854
<b>固定負債合計</b>	<b>873</b>	<b>854</b>
<b>負債合計</b>	<b>275,812</b>	<b>319,692</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	814,962	814,962
資本剰余金	948,203	948,203
利益剰余金	63,132	126,860
自己株式	39,678	39,678
<b>株主資本合計</b>	<b>1,786,619</b>	<b>1,850,347</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	105,492	19,153
為替換算調整勘定	1,482	1,469
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>106,974</b>	<b>20,622</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>30,924</b>	<b>38,532</b>
<b>純資産合計</b>	<b>1,710,569</b>	<b>1,868,257</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>1,986,382</b>	<b>2,187,949</b>

## (2) 四半期連結損益計算書

(第 1 四半期連結累計期間)

(単位:千円)

当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成20年 8 月 1 日 至 平成20年10月31日)	
売上高	477,533
売上原価	343,592
売上総利益	133,940
販売費及び一般管理費	151,026
営業損失( )	17,085
営業外収益	
受取利息	10
受取配当金	78
その他	116
営業外収益合計	206
営業外費用	
支払利息	11
複合金融商品評価損	42,380
その他	93
営業外費用合計	42,484
経常損失( )	59,363
特別利益	
ポイント引当金戻入益	95
特別利益合計	95
税金等調整前四半期純損失( )	59,268
法人税、住民税及び事業税	512
法人税等調整額	1,842
法人税等合計	2,355
少数株主損失( )	7,594
四半期純損失( )	54,029

## (3)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成20年 8 月 1 日 至 平成20年10月31日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純損失( )	59,268
減価償却費	6,606
のれん償却額	3,809
貸倒引当金の増減( )額	56
受取利息及び配当金	89
支払利息	11
複合金融商品評価損	42,380
為替差損益( )	237
売上債権の増( )減額	31,063
たな卸資産の増( )減額	22,869
前渡金の増( )減額	242
仕入債務の増減( )額	53,628
未払消費税等の増減( )額	13,210
外形標準課税に係る未払事業税の増減( )額	1,454
その他資産の増( )減額	1,425
その他負債の増減( )額	23,873
<b>小計</b>	<b>41,411</b>
利息及び配当金の受取額	89
利息の支払額	11
法人税等の支払額	3,025
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>44,358</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	13,233
無形固定資産の取得による支出	2,773
投資有価証券の売却による収入	2,283
敷金保証金の増加による支出	549
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>14,273</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
配当金の支払額	6,120
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,120
現金及び現金同等物に係る換算差額	154
現金及び現金同等物の増減( )額	64,907
現金及び現金同等物の期首残高	617,026
現金及び現金同等物の四半期末残高	552,118

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 繼続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結会計期間(自 平成20年8月1日 至 平成20年10月31日)

該当事項は、ありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年8月1日 至 平成20年10月31日)

(単位:千円)

	サービス開発事業	コンテンツ事業	システムコンサルティング事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	43,572	257,765	176,195	477,553		477,533
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高		9	14,196	14,205	(14,205)	
計	43,572	257,774	190,392	491,739	(14,205)	477,533
営業利益又は営業損失( )	11,824	42,879	5,027	59,731	(76,817)	17,085

(注) 1 事業の区分は内部管理上採用している区分によってあります。

2 各区分の主な製品・役務

- (1)サービス開発事業・・・・・・・・携帯電話ほかモバイル機器向け組込み型ソフトウェア(例:パーコードリーダー)の企画・開発及びライセンス販売
- (2)コンテンツ事業・・・・・・・・携帯電話向け有料コンテンツ(例:着メロほか)配信サービス
- (3)システムコンサルティング事業・・企業向け戦略コンサルティング、システムコンサルティング及びシステム運用支援サービス

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年8月1日 至 平成20年10月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、いずれも90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年8月1日 至 平成20年10月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年8月1日 至 平成20年10月31日)

該当事項は、ありません。

## 「参考資料」

## 前四半期に係る財務諸表等

## (1)(要約)四半期連結損益計算書

科目	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成19年 8 月 1 日 至 平成19年10月31日)
	金額(千円)
売上高	523,716
売上原価	386,220
売上総利益	137,495
販売費及び一般管理費	96,970
営業利益	40,525
営業外収益	
1 受取利息	7,643
2 投資有価証券売却益	4,745
3 その他	46
営業外費用	
1 支払利息	39
2 為替差損	2,789
3 複合金融商品評価損	8,493
4 その他	36
経常利益	41,602
特別損失	
1 商品評価損	82
税金等調整前四半期純利益	41,519
法人税、住民税及び事業税	15,425
法人税等調整額	751
少数株主利益	4,654
四半期純利益	20,688

## (2)(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

区分	金額(千円)	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 19 年 8 月 1 日 至 平成 19 年 10 月 31 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
1 税金等調整前四半期純利益	41,519	
2 減価償却費	5,853	
3 のれん償却額	3,776	
4 貸倒引当金の増減( )額	760	
5 受取利息及び配当金	7,643	
6 支払利息	39	
7 投資有価証券売却益	4,745	
8 複合金融商品評価損	8,493	
9 為替差損益( )	4,322	
10 売上債権の増( )減額	59,541	
11 たな卸資産の増( )減額	19,971	
12 前渡金の増( )減額	112	
13 仕入債務の増減( )額	45,651	
14 未払消費税等の増減( )額	3,005	
15 外形標準課税に係る未払事業税の増減( )額	1,335	
16 その他資産の増( )減額	2,000	
17 その他負債の増減( )額	13,255	
小計	15,806	
18 利息及び配当金の受取額	7,201	
19 利息の支払額	39	
20 法人税等の支払額	8,576	
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,221	
投資活動によるキャッシュ・フロー		
1 有形固定資産の取得による支出	1,038	
2 投資有価証券の売却による収入	56,245	
3 敷金保証金の返還による収入	90	
4 敷金保証金の増加による支出	107	
投資活動によるキャッシュ・フロー	55,189	
財務活動によるキャッシュ・フロー		
財務活動によるキャッシュ・フロー		
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,008	
現金及び現金同等物の増減( )額	32,959	
現金及び現金同等物の期首残高	875,853	
現金及び現金同等物の四半期末残高	908,813	

## (3)セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年8月1日 至 平成19年10月31日)

(単位:千円)

	サービス開発事業	コンテンツ事業	システムコンサルティング事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益						
(1)外部顧客に対する売上高	48,235	225,944	249,536	523,716		523,716
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高		4	14,981	14,986	(14,986)	
計	48,235	225,949	264,518	538,702	(14,986)	523,716
営業費用	30,861	188,442	204,873	424,177	59,013	483,190
営業利益	17,373	37,506	59,644	114,525	(73,999)	40,525

(注) 1 事業の区分は内部管理上採用している区分によってあります。

2 各区分の主な製品・役務

- (1)サービス開発事業・・・・・・・・携帯電話ほかモバイル機器向け組込み型ソフトウェア(例:バーコードリーダー)の企画・開発及びライセンス販売
- (2)コンテンツ事業・・・・・・・・携帯電話向け有料コンテンツ(例:着メロほか)配信サービス
- (3)システムコンサルティング事業・・企業向け戦略コンサルティング、システムコンサルティング及びシステム運用支援サービス

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用(59,013千円)の主な内容は、提出会社本社の業務管理部門等管理部門に係る費用であります。

## 【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年8月1日 至 平成19年10月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、いずれも90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

## 【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年8月1日 至 平成19年10月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため記載を省略しております。